

IAATO アザラシ/

アシカウォッチングガイドライン

推奨する接近距離

陸上および氷上でのアザラシ/アシカ観察の一般的なルール

- 船舶、小型ボート¹、その他の移動手段は、野生動物を動揺させない方法で使用してください。決してアザラシ/アシカを人や小型ボートで囲まないでください。
- 上陸地点、生息地、個体に接近する、または離れるときは、ゆっくりと慎重に行ってください。付近にいる他の訪問者とも協力してください。
- 動揺の兆候を示していないかどうか、動物の行動を監視してください。
- 騒音は最小限に抑え、急な動きをしないでください。
- 常に動物に道を譲りましょう。
- 野生動物との交流を促したり、触ったり、触らせたりしないでください。
- 野生動物に決して餌を与えないでください。
- 衣服、履物、器具については、常に適切な防疫対策の手順に従ってください。



陸上または氷上のアザラシ/アシカとは、少なくとも
5m / 15フィートの距離をとってください²。

動物に接近したり、観察したりするときは、動物が人間の存在に動揺している兆候を示していないことを前提に、必ず定められた距離をおいてください。許可や認可の内容によっては、より長い距離を求められる場合があることに注意してください。より近い距離で交流できるかどうかは、動物の状態によります。

種/ライフステージ	最小距離 (m/フィート)
陸上で闘っているオスのゾウアザラシ	25m / 75フィート
陸上のオットセイとアシカ	15m / 45フィート
陸上・海上・水中のヒョウアザラシ	5~15m / 15~45フィート
幼少期(子供、ゾウアザラシの「離乳期」を含む)	5m / 15フィート

海岸のアザラシ/アシカを見るとき

繁殖が最も盛んな期間は、観察できない場合もあります。

- 繁殖が最も盛んな期間は、多数のアザラシが強固に縄張りを守っているため、上陸できないことがあります。
- アザラシと訪問者の双方を保護するため、代わりにアクティビティとして小型ボートでのクルージングを行うことがあります。
- 野生動物が水域に出入りするための場所を塞がないようにしてください。
- 速度を落としたり、進路を変えたりして衝突しないようにしてください。
- アザラシを観察するときは、取り囲んだり割り込んだりしないでください。特にハーレムや母親と子供には注意してください。
- 母親が摂食する際、子供たちが放置されることがよくあります。子供たちは見捨てられたわけではありません。そっとしておいてください。
- 彼らが見える場所に留まってください。
- 一時的に水を離れて横になっているアザラシを見下ろしたり、視界を遮ったりしないでください。
- 海岸では、アザラシ/アシカと海の間は避け、陸側を歩いてください。
- 繁殖期の海岸では、アザラシと不意に遭遇するリスクを最小限に抑えるため、他の人とペアになって歩いてください。常に誰かが周囲に目を配っていただけるよう、写真を撮るときは交代で行ってください。
- 草むらの動物には注意してください。
- 機材は動物からできる限り離れた陸上に置くようにしてください。アザラシ/アシカが近づいてきた場合に、安全を確認して慎重に機材を動かせるようにしておいてください。近づくために「自撮り棒」などの機器を使用しないでください。
- 「見栄えのいい」写真を撮るために、野生動物または野生植物に干渉行為を絶対にしないでください。フラッシュでの写真撮影は、いかなる場合でも決して行わないでください。



アザラシ/アシカの 行動パターンを理解して動物の動揺を防ぐ

陸、岩、または氷上に上がったアザラシ/アシカはボートや人の気配に敏感です。音、匂い、視界に入るものに反応します。

アザラシ/アシカが動揺していることを示す、以下のような行動を把握しておきましょう。

- 注意や警戒のレベルが高まり、頭部をキョロキョロと動かしたり、首を伸ばしたりする
- 頭を上げる動作を2回以上行う。この場合は、アザラシが人間の存在にストレスを感じている可能性があるため、その場を離れてください
- 横たわっている状態から直立の姿勢に変わる
- 身体を回転させて、脅威を感じている人間、船舶、車両の方へ顔を向ける
- 個体または群れが、接近する船舶、車両、または人から急いで離れる
- 口を大きく開ける(氷上のヒョウアザラシ、陸上のゾウアザラシなど)
- 攻撃的に威嚇する、またはあなたの方へ突進してくる。判断が難しい場合は、慎重に離れてください

WWW.IAATO.ORG

IAATOのアザラシ/アシカウォッチングガイドラインは、安全かつ環境に配慮した方法でアザラシ/アシカを鑑賞するためのベストプラクティスを概説するものです。ここに記載されたガイドラインは、IAATOの種ごとの具体的なガイドラインを補足するものであり、その代わりとなるものではありません。

より詳細な情報については、IAATOの「IAATO アザラシ/アシカウォッチングガイドライン」のドキュメントをご参照ください。

¹本文書では、「小型のボート」をゾディアック型の空気注入ボートとして定義し、複合または半複合のゴムボート、あるいは海岸での見学に使用される同様の上陸用小型船を指します。

²南極訪問者のための一般的なガイドライン、南極条約協議国会議 決議4 (2021年)、附属書1

